

公共施設跡地等の利活用について

【1. 背景と現状】

- ・ 施設総量フレーム（2014 年度比 80%）に基づく施設再編 → 施設の跡地が発生
- ・ これまでは市内のみで議論し、売却や他用途への転用 → 限られた知見での検討

【2. 公共施設跡地等の利活用事例】

（1）岡山市 出石小学校跡地整備事業

- ・ 岡山市の繁華街にある廃校跡に、住宅・民間施設（スポーツクラブなど）・公共施設（コミュニティ施設）等を一体で整備
- ・ 土地は市が所有し、一部を定期借地権で民間事業者に貸し付けている



(岡山市公表資料より抜粋)

（2）富山市 総曲輪レガートスクエア

- ・ 富山市の中心市街地における小中学校再編の中で生じた学校跡地を利活用
- ・ 大和リースグループが施設を一体整備し、公共施設部分を市が買い取り



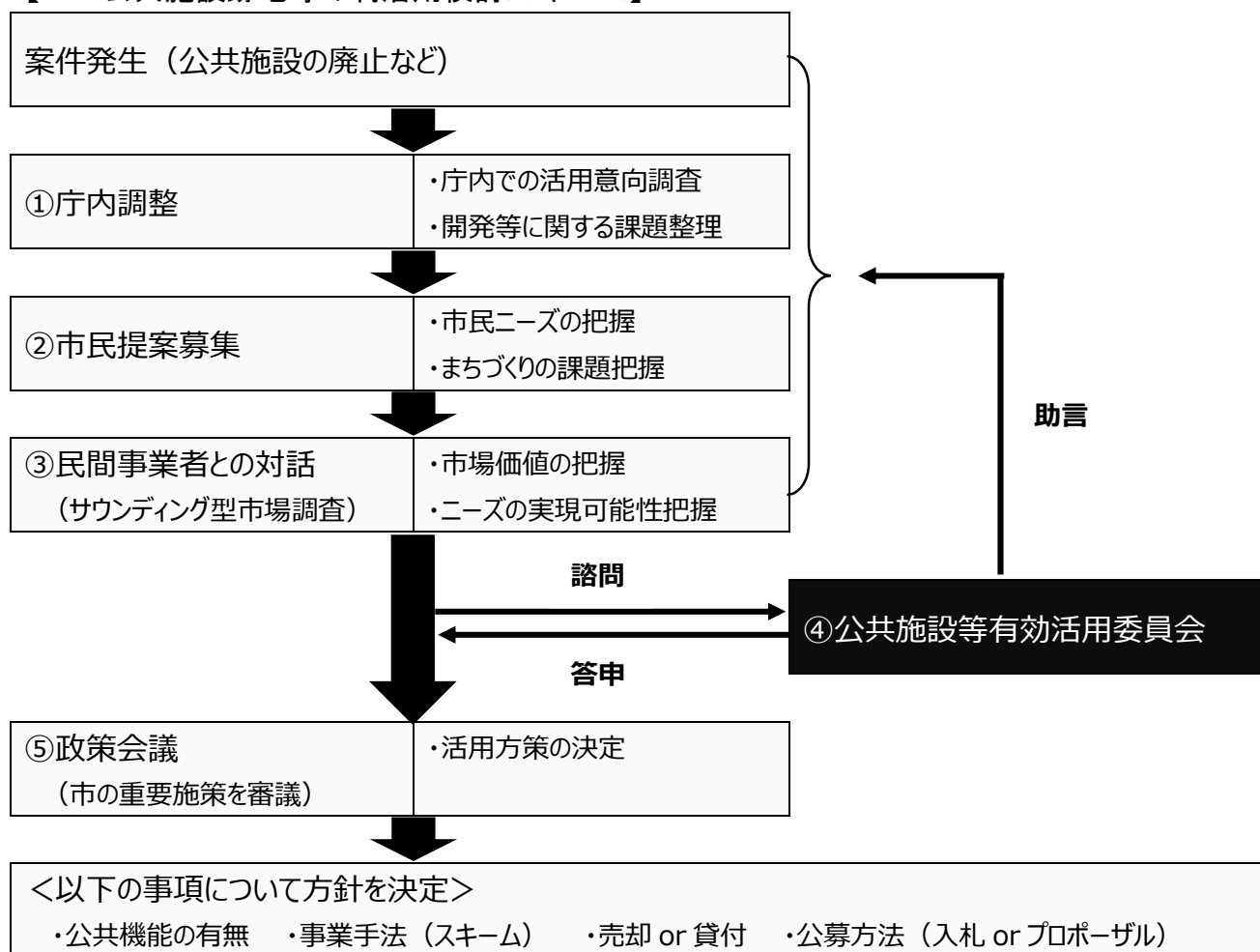
(大和リース株式会社 公表資料より抜粋)

【3. これからの公共施設跡地等利活用について】

<ポイント>

- ・ 公民連携（民間事業者との対話・多様な事業スキーム）
- ・ まちづくり（市民ニーズを踏まえた検討・まちの活性化の「核」）
- ・ 歳入の確保（公共施設の更新改修をはじめとする財政負担を軽減）

【4. 公共施設跡地等の利活用検討スキーム】



<公共施設等有効活用委員会にお願いしたい役割>

答申	市民提案募集や民間事業者との対話結果をふまえ、政策会議で活用方策を決定するうえでの論点・留意事項等を答申 （例）・民間事業者や市民からの提案の妥当性や実現可能性 ・中長期的な当該資産の価値 ・公募実施に向けての留意点
助言	・市民提案募集や事業者との対話の進め方 ・当該資産の市場価値や活用可能性について ・まちづくりの視点を踏まえた留意事項